

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0193600137		
法人名	有限会社 ライトマインド		
事業所名	グループホーム 花縁 ときわ館		
所在地	苫小牧市ときわ町3丁目4-14		
自己評価作成日	平成22年8月18日	評価結果市町村受理日	平成22年10月5日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0193600137&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0193600137&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成22年9月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・状況に応じて柔軟に対応できるスタッフが多いと思う。その人が困っていることに対し、早期にアセスメントし統一したケアを心がけている。</p> <p>・「その人らしさ」に重点をおき自由な発想で関わりを持つよう心がけている。否定や説得に繋がるような対応を避け、「認め合う」関係を大切にしている。</p> <p>・普段から自分の思っていること、考えていること等スタッフに話して下るように心掛けている。また、天気の良い日には外出支援も多く色々なところの空気を吸っている。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>苫小牧市郊外の新興住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームであり、同一法人の小規模多機能ホームが隣接している。玄関や食堂など共用空間が広く、窓も多くて明るく風通しのよい造りとなっている。居間には足踏みミシンや昔風の戸棚などが置かれ、懐かしい雰囲気を作っている。前回の外部評価の結果をもとに、ケア理念の作成や家族会の設置、看取り指針の作成、外食機会の充実などサービスの向上に積極的に取り組んでいる。また自己評価にも職員全員で取り組み、理念や介護計画、アセスメントなど職員の理解度も高い。利用者や職員の自由で自発的な意思を尊重し、個々の意向に沿って過ごすことができ、職員同士も活発に意見を言い合える関係にある。利用者の個別の外出や通院、昔からの関係継続の支援も利用者の意向に沿って行われている。また、医療面の支援体制や看取りの体制も整備されている。開設して2年と新しいグループホームであるが、地域とのより親密な関係作りに向けて積極的に取り組んでいる。</p>
---

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念と昨年度スタッフ全員参加にて「ケア理念」を作成し、日々のケアはそれをベースに行っている。どのスタッフにおいても、入社時に理念についての指導を受けており、日々のケアの中で意識して実践にうつすように努めている。	基本理念のほかに昨年度新たに「ケア理念」を作成し、その中で「地域との交流を活かす」という文言を入れている。カンファレンスなどで理念の内容を職員間で確認し合い、日々の介護に役立てており、職員は理念をよく理解している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接の別事業所の方や町内の子供達との交流もあるが多くはなく、気軽に立ち寄り光景は見られない。町内会の方々に対して、行事等を利用して交流を計りたいと思っているが十分ではない。町内会のボランティアグループに依頼して来訪していただくことはよくある。	地域の運動会や廃品回収などに参加している。またボランティアグループの訪問も受けており、町内の子供たちとの交流もある。今後、町内会の行事などにも参加する機会を増やしたいと考えている。	地域の一員として町内会の行事に参加したり、地域住民との交流機会が増やせるよう、町内会への継続的な働きかけを期待したい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域活動、貢献に関しては例が少ない。古紙回収等は参加している。施設長がキャラバンメイトでサポーター養成講座を開催している。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実際に参加したスタッフは限られているが、取り組み状況は伝達を受けている。	運営推進会議は2ヶ月毎に開催され、町内会副会長、市や地域包括支援センター職員、利用者家族、民生委員などが参加している。行事や災害対策、サービス評価などのテーマで活発に意見交換している。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の代表者は時折市町村担当者とコンタクトをとっている。その都度行き来し、GHの質の向上に向けた取り組みや今後の課題について話し合いがもたれている。	毎回の運営推進会議に、市や地域包括支援センター職員の参加を得て、情報提供してもらっている。市のグループホーム管理者連絡会の研修でも市の担当者と交流機会がある。また、施設長がキャラバンメイトのサポーター養成講座の講師を担当している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部・内部研修を行っている。	外部研修や内部研修で身体拘束に関する知識を深め、日々の介護と照らし合わせ問題がないか検討している。施錠については、日中は玄関の鍵をかけず自由に出入りできる。各ユニットの出入口に鈴を付け利用者の出入りがわかるようにしており、外出がある場合は同行している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	外部・内部の研修にて学んでいる。またそれらにつながらないようにスタッフ同士で声を掛け合い、考えて行動するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内にて具体的に学ぶ機会はなく、個々のスタッフが独自で学ぶ姿勢は見られるが十分とは言えない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	行っている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特別な機会は設けていないが、日頃から入居者の意見・想い等は受け入れ、カンファレンスを利用する等して反映できるよう努めている。	前回の外部評価後に家族会を立ち上げ、夏祭りやクリスマス会の後に会を開催してもらい、意見をもらっている。家族からの要望などはユニットリーダーを中心に受け付け、職員に申し送りしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	来訪時に声をかけ意見をつのったりしている。苦情はなく、何かあれば相談をしあったりしている。また「家族会」を設けている。また玄関に「苦情箱」を用意している。	2週に1度、業務ミーティングとカンファレンスが行われ、職員が活発に意見交換し運営に反映している。職員同士もお互いに意見を言い合える関係が築けている。また利用者のダメージを考え、職員の異動は必要最小限にしている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度を導入し待遇の質の向上に努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部・内部研修がある。実践の場で学ぶことも多く、日常の中で指導する事も、されることがある。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	具体的交流は現場スタッフにはないが、実習生受け入れの際にフロアスタッフは外部施設の方々と交流を持ったりケアについての情報交換をしたりすることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>管理者により伝達されている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>管理者により伝達を受けたりし、内容を現場スタッフで相談している。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>管理者により伝達を受けたりし、内容を現場スタッフで相談している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その方の疾病にとらわれず、感謝の念で関わらせていただき、スキンシップを多く取り入れ、学ぶ心と敬意の想いを忘れないように心がけている。</p>		
19		<p>本人を共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご本人とご家族との関係や事情を理解した上で支援にあたりたいと考える。また状態の変化にとまどご家族もあることを理解し、細やかな報告をし心配や不安の軽減に努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族の来訪に時間制限を設けていない。ご家族の協力のもと、古人友人に会ったり自宅へ帰る等も行っている。</p>	<p>利用者の古くからの知人と馴染みの関係が継続できるように年賀状のやり取りを支援したり、一緒に友人に会いに行ったり、馴染みの本屋や床屋に同行している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>スタッフが介入しスムーズな交流になる様に関わっている。時として理解力低下の著しい方は十分な交流に繋がらないため無理なく行えるように努力したい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	看取りをさせていただいた方のご家族が遊びに来てくださったことがあった。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	可能な限りライフスタイル維持とそのために必要なことをカンファレンス等で話し合っている。不十分なこともあるが情報共有につとめ、必要な際はアセスメント書類を使用しケアの方向性に役立てている。	言葉で思いを表現することが難しい利用者でも、表情やしぐさ、行動パターンから思いや意向を把握し、職員間で共有している。センター方式のアセスメントシートを活用し、利用者の情報を蓄積している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族への協力のもと、以前の生活様式やバックグラウンドを情報収集しているが、すべてではない。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間での情報の共有と変化がある際にはご家族に報告している。日差・日内変動に気づけるように心がけている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ間で相談しケアプラン作成している。センター方式を活用したり、ご家族から必要な情報を聞いて作成している。以前の立案時期6ヶ月を改善し4ヶ月に変更した。月1度評価を行い、新プランに向けて十分な話し合いを心がけている。	利用開始時に家族や本人からの情報を収集してアセスメントを行い、職員が意見交換してきめ細かな介護計画を作成している。モニタリングは毎月行っており、4ヶ月毎に介護計画を作成している。変化があった場合の計画の見直しも随時行われている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のアセスメントシート活用、不足と思われる際には個別に別紙ノート用意したり、思考展開シートを使用してケアに当たっている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望によりご家族と食事が出来るように配慮したり、月1回の訪問診療を受けているが状況に応じ、医療チームとの連携を持っている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設行事に町内のボランティアの方々に来ていただいたりしている。避難訓練の際には地域の消防の方々にも協力をいただいている。地域の消防署において蘇生術の集団研修を開催してもらった。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員が月1回の訪問診療を受けているが希望があれば医療連携をとっていない病院の受診も行っている。また状況の変化に応じて受診できるようにしている。	提携医療機関(内科)による月1~2回の往診を受けており、必要に応じて整形外科や歯科の往診を受けることもできる。元々のかかりつけ医の受診も可能であり、家族対応が難しい場合は事業所で支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設長が看護師、副施設長が准看護師である。医師の指示により訪問看護ステーションの利用を受けることも出来る。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	骨折入院した方がいたが、入院時の面会を心がけたり、早期退院ができるように経過を見て対応している。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	1名看取りを行った。ご家族と話し合い、医師と訪問看護ステーションと連携をとり随時話し合いながら行っていった。看取りに向けて緊急カンファレンスを行い協議したり、家族の想いを細かく聞く機会を積極的に設けた。	「看取り介護に関する指針」を家族に提示して事業所の方針を説明しており、看取り介護の必要性が高まった段階で再度説明し、同意書を取り交わしている。医療機関の協力も得て看取りも行っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行ってない。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回訓練を行っている。地域の方には参加していただくようお願いしたことはあるが書かせきしてはもらえていない。	年2回、消防署の協力を得て避難訓練を実施しており、今秋は夜間を想定した訓練も行う予定である。避難訓練への地域住民の参加はまだ得られていない。近所のグループホームとも災害時の協力を約束している。また、職員全員が救急救命訓練を受講済みである。	昼夜を想定した避難訓練の継続的な実施を期待すると共に、近隣住民や町内会にも災害時に協力してもらえよう、日ごろの親密な関係作りや避難訓練の参加の呼びかけなど、協力体制の構築に向けた継続的な取り組みを期待したい。
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	守秘義務の厳守、記録等の持ち出し禁止、声かけに失礼がないように気配りをしているが十分ではない。	個人記録は決められた場所に保管し、面会簿は単票形式にしてプライバシーに配慮している。抑制する言葉を使用することなく、言葉かけも個々の利用者に応じて誇りを損ねないように配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望を確認する。本人が自己決定できるように促していく。想いを表出できるような関係作り、対話を大切にし一方的な促しを避けている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを尊重、スタッフが忙しそうに見えない配慮を心がけているが状況に応じ他(利用者にとって)優先順位の対応にあわれることもあり全員に対して十分とは言えない。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容サービスを利用。化粧をしたりすることの支援のほかに、白髪の方からの「染めたい」という希望で対応している。利用者にとっては金銭面の事情もあり十分に行えないこともある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	状況に応じて参加していただいている。後片付けは常に参加があるが調理に関しては全体状況により行えないことも多い。状況に応じ食事内容を変更して個別対応もしている。	献立は利用者の希望や旬の無農薬野菜などの食材を取り入れて職員が作成している。下ごしらえ、調理、盛り付けなど利用者と職員と一緒にやっている。年間の行事食や外食なども積極的に取り入れている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の状況により、カロリーバランスが十分ではない方もいる。食の意識が損なわれないように調理や見た目に気配りしている。個人にあった食形態や分量を心がけている。毎月外部の栄養士の方に献立を見ていただき都度改善や工夫を取り入れている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	外部研修に行っているが、個人の状態によっては不十分と思われることも多く、工夫が必要と思われる。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄が上手に行えるように個別対応している。排泄コントロールをアセスメントし対応している。ウオッシュレットを使用し尿意の促し等の工夫を行っている。	利用者のしぐさや排泄記録をもとに、おむつを使用している利用者に対しても言葉かけに配慮してトイレでの排泄自立に向けて支援を行っている。排泄に失敗した時も他の利用者には気付かれないように配慮したケアを行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立の工夫をしたり、運動に繋がるように軽作業を促しているが、運動量には個人差がある。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	勤務人数や時間により制限が生じてしまう。最低限週2回の入浴を心がけているが、日によって入浴できない場合もあり、次の日に多く入っていただくなどしている。	毎日、午後を入浴時間にしてはいるが、利用者の状況や希望に応じて午前中も入浴を行っている。夜間入浴も希望があれば対応している。入浴拒否する利用者に対しては、好みの音楽を流したり声かけする職員を代えるなど、工夫を凝らして入浴できるように支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不眠であっても薬に頼らずケアに工夫している。一日を通して休めるように工夫したり、眠れない理由をアセスメントしケアを統一することにより、不眠解消に至ったこともあった。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	把握しきれていない。入居者が現在服薬しているものについては伝達を行う等して、理解するように心がけているが十分とはいえない。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴から趣味を見つけ促したことにより、表情が明るくなった方がいた。買物等の外出や気分転換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	訴えのある方は出来るだけ希望に応じている。訴えの少ない方、訴えられない方には不十分だと感じる。	利用者の希望に応じて個別の買い物や散歩などに出かけている。外出を好まない利用者に対しては、ドライブや買い物など目的を持って外出できるように工夫したり、ショッピングセンターでの外食などを取り入れて、定期的に外出できるように支援している。囲碁などの趣味も継続できるような外出支援も行っている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭面の都合がその方により違うため、全員ではないが、欲しい物、必要な物がある時は買物に出かけている。スタッフにお金を払おうとする時は後で本人に気づかれないように返金している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	安心を促すために、ご家族から電話が来たと伝えることはあるが、実際にかけることはない。以前手紙のやり取りをした方はいた。またその行為でひどく混乱された方もいた。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	浴室スペースは無駄な用具をおかない等くつろげるように工夫したり、写真を飾るなどしている。	吹き抜けの玄関をはじめ、建物全体に多くの窓を設けて風通しのよい健康的な造りになっている。L型キッチンを広間の中央に配置して、利用者が食事の準備に参加しやすいように工夫がなされている。談話スペースを設けたり手すりに工夫を凝らすなど、利用者が過ごしやすいうに配慮がなされている。夜間はトイレの位置が把握できるようにスポットライトを照らして、安全面にも配慮がなされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	マニュアルを作らず(スタッフ業務にとっての)対応するようにしている。様々な場所にイスを設置し、休みながら他者との団欒が出来るようにしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全室、入居者様の私物が置かれており馴染みのものに囲まれた生活ができるようにしている。	居室の入口ドアの上部には小窓が設置され、換気に配慮した造りになっている。クローゼットとナースコールが備え付けられ、利用者はテレビや時計など好みの物や使い慣れた物、ベッドや布団などを持ち込み、落ち着いて過ごせるように工夫がなされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	それぞれの状況に応じて対応。トイレの場所に目印をつける工夫等をしている。夜間は必要な場所にスポットライトを照らすなどして分かりやすくしている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0193600137		
法人名	有限会社 ライトマインド		
事業所名	グループホーム 花縁 ときわ館		
所在地	苫小牧市ときわ町3丁目4-14		
自己評価作成日	平成22年8月18日	評価結果市町村受理日	平成22年10月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「1階ユニット」に同じ
-------------

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0193600137&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0193600137&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成22年9月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしい生活・安全で当たり前の生活・尊厳のある生活を目指し自立(自律)した生涯への支援を行う。と基本理念を掲げており平成22.2ケア理念を作成。感情豊かな生活・心身ともに健やかな暮らし・想像・創造する・地域との交流を活かす。と掲げている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	他の施設などの行事に参加させていただく機会が増えてきている。特定の人ではあるがコミセンへ行き娯楽を共にすることもある。地域活動として毎週決まった曜日に廃品回収の協力もしている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域活動、貢献に関しては例が少ない。古紙回収等は参加している。施設長がキャラバンメイトでサポーター養成講座を開催している。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度開催し行事の報告、利用状況等の説明が行われている。また各フロアに開催議事録をファイルし、各自スタッフは目を通してしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所の代表者は時折市町村担当者とコンタクトをとっている。その都度行き来し、GHの質の向上に向けた取り組みや今後の課題について話し合いがもたれている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎年講習があり、受講したスタッフは勉強会の時間を利用して伝達講習を行っている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフは毎年研修に行かせていただき、伝達講習も行っている。資料も配布され各ユニットにもファイルしてある。事件も多発しているため日々意識している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>事業所内にて具体的に学ぶ機会はなく、個々のスタッフが独自で学ぶ姿勢は見られるが十分とは言えない。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>月に1度必ずらん通信や必要な電話連絡を行っている。来訪した家族には都度暮らしぶりを報告していたり、日々のアセスメントシートをご覧になっている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>行事の取り組みとして開催届を事前に配布し意見を募り会議を有意義あるものに行っている。</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>キャリアアップ制度を導入し待遇の質の向上に努めている。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内があると都度順に受講し、伝達講習も行っている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会の案内で勉強会に参加させていただいている。月に1度水曜クラブをたちあげてくださり、ユニットリーダーと他事業者の方が参加し「センター方式」を学ぶ機会がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	情報シートの記入の協力。また施設長が事前に訪問している。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	情報シートの記入の協力やケアプランに取り入れるなどしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今までの支援経過の共有に努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お世話されていると思われない様に普段から関わりを持っている。また若いスタッフには料理を教えてくださいたりとしている。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪した際にはコミュニケーションをとり出来る限り希望も含めケアしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きたい所に行けるよう、年賀はがきの返信をする、娯楽であるものも出来る限り努めている。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格の不一致から孤立することもある、その日の状況・環境に配慮するなど工夫している。仲の良い人同士だがドライブ・散歩、みんなが集まるような所へお誘いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併設している小規模多機能へ移行した方がおり、継続して関わっている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りのサービスには努めているが満たせない部分もある。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシート・情報シートの記入・家族より情報を聞き記録している。ファイルスタッフはいつでも見れるようになっている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のアセスメントシートの記録・申し送り・週1度の血圧測定を行いスタッフ同士で声かけ情報交換している。また細かく日々記録するよう努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その方に合ったプランを作成し月2度の話し合いを行っている。カンファレンスで評価をして必要に応じ作成しなおしたり追加・削除等をしている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日アセスメントシートの記録個々が工夫した対応をしてみても結果をカンファレンスで報告、情報交換をしている。またヒヤリ・ハットで報告されたものもケアプランに取り入れている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院の付き添いや食事等の工夫。お粥・刻み食の提供など努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事にボランティアのかたを招くなどしている。年に2回入居者を交え消防訓練を行っている。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に1度内科往診。かかりつけ医がいる場合は必要に応じ受診などしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設長が看護師、必要であれば訪問看護師が来る体制になっている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院できるよう施設長がコンタクトを取っており、本人が少しでも安心できるよう顔を見に行ったり看護師とコミュニケーションを図るよう努めている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームでの看取りの方針がある。今段階でユニットにはいないが花縁(澄川)で経験しているスタッフもいる。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成、また勉強会を利用し消防所の方に講義をしていただきました。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回火災訓練を行い、緊急連絡網も作成。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常から言葉遣いに気をつけ、またお互いに注意し合うように努めている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事もご本人の意思を尊重し、自己決定出来るようこちらからアプローチするよう心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを乱さぬよう努めているが、まれに業務優先になる事がある。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の嗜好や希望を取り入れたり、一緒に買い物に行き洋服を購入するなどしている。カットに関しては訪問理容を利用したり行きたい美容室によるなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者と考えたり、台所での役割がある利用者もあり、また継続できるよう見守りしながら行っている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューは和食中心に基本的に薄味、毎月栄養士に評価していただいている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々により対応。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々によりパターンの把握するよう努めている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々により水分調整や散歩の促し、野菜を中心としたメニューにするなど工夫しているも効果が得られない時もある。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	普段、午後からの入浴が多いが、利用者の体調や希望も含め午前中に行うこともある。個々によりタイミングもあるので必要に応じ都度様子を伺い声かけしている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の居室がある。また、それぞれの居場所・なじみの場所に行くよう促している。夜間休めないでは色々工夫をしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々にファイルしてあり、把握に努めている。また多くの使用されている内服薬の資料もユニットに保管している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常での役割・毎日の散歩・ドライブ・図書室を利用するなどの生活歴を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日には散歩・ドライブ・長距離が難しい方はバルコニーへお誘いするなどしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々により管理しているが、買物での支払いは見守りで行っており必要に応じサポートしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>すべての方ではないが電話連絡や手紙を書いたり準備の支援をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>電気の色や装飾も飾りすぎない様雰囲気を乱さぬよう努めスタッフも足音・話声に注意している。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>それぞれ集まる場所が定まってきたのと、互いの自室に行き来したりもしている。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時になじみのものを持ってきていただいている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の能力に応じサポートをしている。</p>		

目標達成計画

事業所名 グループホーム花縁ときわ館

作成日：平成22年10月5日

市町村届出日：平成22年10月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	町内会には加入しているが、交流が少ない。	町内会との交流の機会を増やす。	町内会の行事の参加、消防訓練への参加の依頼、SOSネットワークシンポジウムの後援依頼、サポーター養成講座の開催等々。	H22.10～ H23.9
2	35	夜間を想定した避難訓練を行っていない。また地域の方たちの参加も実現していない。	夜間を想定した避難訓練の実施。	夜間を想定した避難訓練の実施。近隣住民への協力の要請。	H22.10～ H23.9
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。